

三中だより

三崎中学校校歌

珠洲の海原 そよ風渡り いま朝日子の 光のうちに
玉も白たま より来る岸边 望みあふれて いそしみはげむ
我等が 三崎中学校

校訓 自治 親和 責任

学校教育目標

自律して学び、
人と協働して
貢献できる生徒の育成



令和5年2月24日 第11号 珠洲市立三崎中学校

珠洲市立三崎中学校

検索

「自立」に向けて～振り返る力の育成～

校長 濱野 裕之

2月に入り、卒業式が近づいています。3年生の姿からは高校入試に向けての緊張感、1、2年生からは次の学年に向けての心の準備を始めている様子を感じられます。

さて、本校では、この1年間、生徒に「書く」力をつけることに取り組んできました。それは、令和4年度、全国・県学力調査の結果から、根拠を基に筋道立てて書くことや、正しい用語を使って書くこと、条件に合わせて書くことに課題があることがわったからです。3年生を対象に4月に実施された調査の結果はというと、国語と理科は県平均を5%以上上回る、

| 年度 | 国語 | 数学 | 社会 | 理科 | 英語 |
|-------|----|----|----|----|----|
| 令和4年度 | ↑ | → | → | ↑ | → |

数学と英語は県平均と同程度、社会は、2～5%程度下回るといえるものです。昨年までの取組で、生徒には自分の言葉で対話する力がついてきています。書く力が身につくことで、さらに対話の質が上がり、学びを深めることができるはずで

す。現在、授業では、まとめや解答の記述を「推敲」する取組を行っています。1年生の社会の授業から簡単に紹介します。

【1年 社会科】

1 重要語句「白豪主義」と「多文化社会」を提示する。

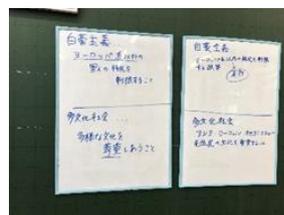
- ① 2つの言葉について、個人でノートに説明を記述する。
- ② ペアで相談し、ホワイトボードによりよい説明を記述する。

2 ホワイトボードを黒板に貼り、比較し、推敲する。

- ・ 黒人という言葉で十分な説明か？→アジア系が含まれないので不十分。
- ・ 尊重という言葉が両方にある。→多文化社会の説明に必要な重要語句。
- ・ アジアとオセアニアは？→より短く的確に「多様な」にする。

3 入試問題に個人で挑戦する。

- ① 記述のポイントを示し、個人で入試問題に挑戦する。
「多文化社会」が問題にあるので、キーワードの『尊重』に着目し記述する。
- ② 解答の文と正答の文を比較し、不足する言葉や文を補って推敲する。



学習のまとめとして、2つ用語（白豪主義、多文化社会）の説明をペアでまとめた後、互いの記述を比較して、どちらの表現がよいのかを考えました。その学びを生かして、入試問題にチャレンジする授業でした。入試問題にチャレンジすることで、理解と定着を図ることができました。このような学びを繰り返すことで生徒たちに書く力を付けていくことができると思います。

自立する力を付けるための力の一つに「振り返り」の力があります。自分の行動を振り返り、課題に対する改善策を考え、実行できる力です。学校では様々なテストやドリル、ワークを基に学習を進めています。その際、自分の誤答を振り返り、次はどう解答すればよいかを判断し、実行できるようになれば、自ら成長していくことができます。学校では、今後も、さらに研究を進め、生徒が自分を振り返りよりよく「書く」ことができるよう取り組んでいきたいと思

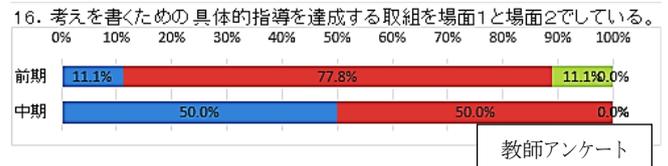
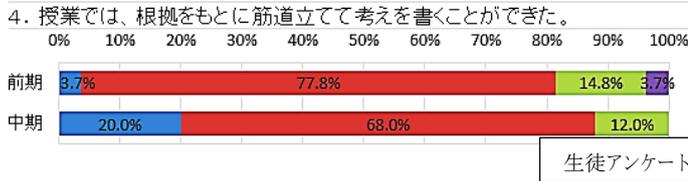
学校評価における自己評価より

■ あてはまる
 ■ どちらかといえばあてはまる
 ■ どちらかといえばあてはまらない
 ■ あてはまらない

7月と12月に行った各種アンケートを基に1年間の教育活動の自己評価を行いました。

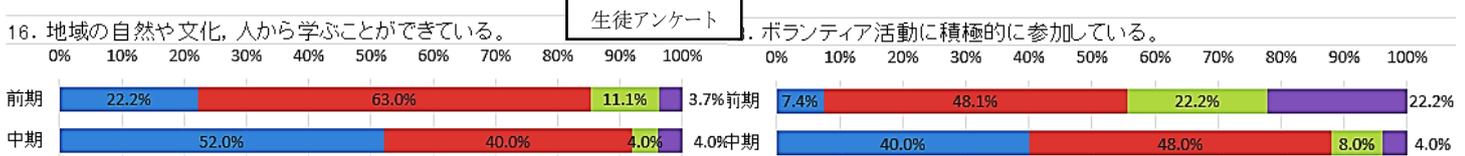
成果1 根拠をもとに筋道を立てて考えを書く力

成果の1点目は、書く力の向上です。根拠をもとに筋道を立てて書く力の向上を目指し、授業で考えを書く場面を設定し、検証と改善を図ってきました。生徒アンケートでは、書くことが出来たという自己評価が高まり、教師はしっかりと手立てを行いました。



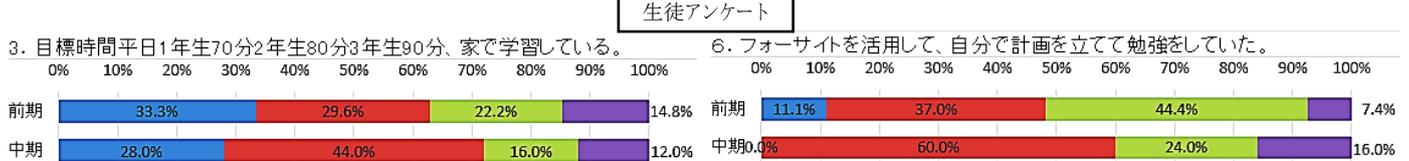
成果2 地域から学び、貢献できる生徒の育成

成果の2点目は、学校運営協議会を生かした地域での学び、地域に貢献する生徒の育成です。公民館との連携により「着付け教室」「蓬莱づくり教室」「お茶教室」「民謡教室」などの取組を行い、地域の方々から多くの学びを得ることができました。また、生徒の自主的な活動による夏の清掃ボランティア、公民館の落ち葉掃きなど、より地域に貢献することができました。



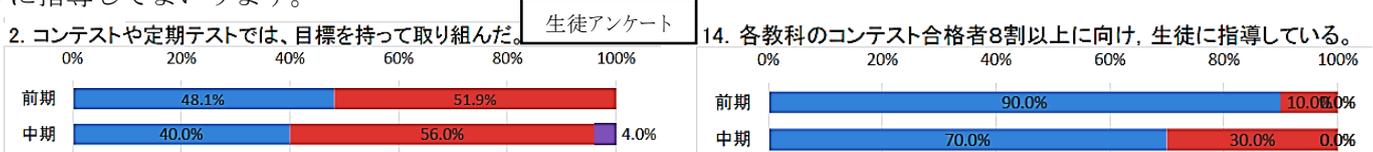
課題1 自分の生活をコントロールし、自律して学習する

課題の1点目は、自律した学習者をめざすことです。フォーサイトノートを活用して、自分で学習の計画を立てて家庭学習を充実することに課題があります。生徒自身が計画を立てて、実践し、振り返り、次の計画に生かすことが出来るように指導を続けてまいります。



課題2 定期テストやコンテストで目標を持って学習をする

課題の2点目は、定期テストやコンテストで目標を持って学習することです。最初は、進学・進級の新たな気持ちから、志を持って学習にあたっていたところが、2学期に入り、学校生活に慣れてきたとともに、少し自分に対して甘えが出てきたように感じます。今後は、来年度に向けて目標をもって学校生活に臨むことが出来るように指導してまいります。



なかむら かぐや モダンバレエダンサー・中村 香耶さんの講演会

1月30日(月)

ハートフルいしかわによるラジオ金沢の収録が本校で行われました。モダンバレエダンサーである中村香耶さんのバレエの実演と講演がありました。普段、バレエを目の前で見る機会などない三中生にとっては、貴重な体験となりました。また、バレエでの表現を極めようと努力する姿やお話から、多くのことを学びました。

初めて、モダンバレエを見ました。指先やつま先がピンと伸びていて、その美しい姿勢を保ち続けることがすごいと思いました。黒一色のシンプルな衣装で力強い踊りは、クラシックバレエとの違いを感じました。香耶さんの中学校時代の話やバレエの練習の話などが聞けてよかったです。

1年 前 颯人

香耶さんのバレエを見て、低い体勢から動き出した時、指先やつま先を意識して表現していてすごいと思いました。クラシックバレエとモダンバレエの違いなど、バレエのことがいろいろわかっていい機会になりました。

1年 松井 颯志

印象に残ったのは、一緒にバレエの練習をしていた友人が、自分には合わないと言ったとバレエをやめ、バレエを支える側の仕事をするようになったという話です。将来、自分のやりたいことが見つかると挫折しそうなときに道をすべて断ち切るのではなく、違った形でやりたいことができればいいのだと思いました。

2年 高木 千穂

バレエは見たことも、知識も何もなかったので、初めて生でバレエを見て、体全体で表現していたことや体の柔らかさにびっくりしました。香耶さんの話の中で小さい時からほぼ毎日レッスンをしていたと聞いて、バレエダンサーの夢を実現させるために日々努力をしていたんだなと思いました。僕も一つの夢に向かって日々努力できるようにがんばりたいです。

3年 干場 蓮司

私はバレエといったらクラシックバレエのイメージしかなかったのですが、モダンバレエというのがあるのだとびっくりしました。踊りも一つ一つの動きがきれいで美しかったです。また、コロナで舞台上でバレエができないときに「できない」と落ち込むのではなく、違うことを考えたり、違うことをやってみることで道が開かれるという考えがなるほどなと思いました。

1年 瀬戸 愛生

香耶さんのバレエを見ましたが、シンプルな衣装で、裸足で踊ったことがびっくりしました。理由は、バレエはトウシューズを履いて、カラフルな衣装だと思っていたからです。

2年 泉 心翔

香耶さんのバレエを見て、指先まで意識して体全体で表現されていて迫力があってすごいなと思いました。また、心に残ったことは「長く続けることが大事」という言葉です。長く続けることで、いろいろな経験ができることもあるとわかって、僕も何かを長く続けられるように努力したいと思いました。

3年 新川 純冬

バレエはあまりなじみのないものだと思っていた。しかし、お話を聞いていると、今の自分につながるどころがたくさんあるのだとわかりました。私はどちらかというと、努力し続けることが得意ではありません。しかし、今日のお話で、将来のことを考え、努力し続けることができるように頑張ろうと思いました。

3年 谷内 未華子

3月行事予定

| | |
|-------------|---------------|
| 1日(水)～3日(金) | 1・2年生期末テスト |
| 3日(金) | 第2回共同調理場運営委員会 |
| 7日(火)・8日(水) | 公立高校一般入試 |
| 13日(月) | 卒業式 |
| 15日(水) | 公立高校合格発表 |
| 24日(金) | 終業式・修了式 |
| 25日(土) | 春季休業(～4月4日) |

※離任式は未定です。詳細が決まり次第、お知らせします。



地域とともに

民謡教室

2月1日(水)

三崎公民館の民謡教室に、1・2年生が参加しました。珠洲市郷土民謡研究会の池谷内吉光会長さんと新谷吉江さんにちょんがりぶしなどを教わりました。民謡を学ぼうとするみなさんの真剣なまなざしに先生方も「郷土の伝統芸能に触れる機会をもってくれてよかった。」とおっしゃっていました。

今日は、いろいろな民謡が聴けて、おもしろかったです。ぼくが特に心に残ったのは、珠洲の方言を使った民謡です。普段、方言を使うことが少ないけど、唄ってみると楽しかったです。民謡についてもっと勉強してみたいなあと思いました。

1年 川淵 泰

民謡は、普段聴いている歌とは違ってリズムとかも楽しくて、すごかったです。先生方の唄がとても上手でずっと聞いていたい声でした。自分で唄ってみると、リズムが難しくて大変でしたが、珠洲の方言が入っているととても楽しかったです。

1年 畠田 彩羽

私は、珠洲に民謡があることを知らなかったのも、とても新鮮な気持ちでした。中でも「方言づくし」では、意味がわかる言葉が多少あって面白かったです。珠洲には自分が思っているよりもたくさんの民謡があって驚きました。これからも、民謡について勉強していきたいです。

2年 前 結音

民謡教室で、民謡の歌詞には、昔の珠洲の暮らしや人々の思いなどが入っていることを知りました。民謡について興味がわいたので珠洲市のいいところを再発見出来てよかったです。掛け声や手拍子などで盛り上げて、楽しく民謡を体験することが出来ました。

2年 干場 湧仁



キャリア教育講演会

2月6日(月)

能登町松波酒造の若女将、金七聖子さんに来校していただき、「のとうまれ のとそだち」という演題でお話を伺いました。「酒屋の建物は古いではなくレトロ」と表現し、何事もプラス思考で乗り切ってきたことや自分が得意とするウェブでの発信を続けてきたことなど、大変興味深い話題でした。また、能登を離れて能登のよさを友達に教えてもらったと語られ、「今この能登にいることがチャンスだ。」という言葉が印象的でした。

講演会で、印象に残っていることは、友達から言われて地元の魅力に気づいたことです。私も今は都会にありますが、いつかそんな時が来て、「地元っていいな」と心から思えるようになりたいです。

2年 知家 日菜乃

フルーツや野菜のリキュールを研究して作ったことがすごいなと思いました。一番心に残ったのは、バンダイナムコさんとコラボして商品を作ったことです。

2年 竹中 猛

金七さんは、すごくかっこいいと思いました。特に「ライバルだけど仲間」という言葉が印象に残っています。様々な人とのつながりの中で、新しいことを進めていくのは難しいことです。ライバルならなおさら付き合いづらいと思います。でもそんな中でも楽しいことを模索しながら、ライバルとも協力し、この能登の商品をアピールし続ける、そんな金七さんのような大人になりたいと思いました。

3年 権元 沙耶

いろいろな工夫でお酒のことを広めたり、多くの方に飲んでもらえるようにしたりしていたのがすごいなと思いました。

1年 清水 一磨

今回の講演は、今までで一番おもしろかったと思えるほど楽しかったです。心に残ったのは、「古い」を「レトロ」と言ったりすることで、まず自分たちからポジティブになっていくことが大切だと感じました。苦手な克服も大事だけど、得意を伸ばしていくことが未来につながると感じました。

3年 畠田 煌心